



2025 年 6 月 6 日

日本鉄道労働組合連合会

「JR 連 合 重 点 政 策 集 2025-2026」

公明党への要請行動を実施し、当面する政策課題を共有

J R 連 合 は 5 月 30 日、「J R 連 合 重 点 政 策 集 2025-2026」に 基 づ く 要 請 行 動 の 第 3 弾 と し て、公明党との政策意見交換を行 っ た。要請には齊藤鉄夫公明 党 代 表 と 労 働 局 次 長 で あ る 中 川 康 洋 衆 議 院 議 員 が 応 じ た。



公明・齊藤代表と中川次長に要請文を手交

J R 連 合 か ら は 荻 山 市 朗 会 長、政 所 大 祐 事 務 局 長、石 川 敏 也 産 業 政 策 局 長、相 良 夏 樹 組 織 局 長 が 出 席 し た。

荻山会長は要請行動に関する御礼を述べた後、要請文書 に 従 い、主 に「J R 二 島 貨 物 の 経 営 自 立」「持 続 可 能 な 地 域 公 共 交 通 の 確 立」「高 速 鉄 道 ・ 新 幹 線 ネ ッ ト ワ ー ク の 構 築 ・ 推 進」に 向 け た 政 策 課 題 に つ い て 説 明 し た。と り わ け J R 二 島 貨 物 問 題 に つ い て、J R 北 海 道 の 黄 線 区 問 題 ・ 総 括 的 検 証 と J R 貨 物 の 線 路 使 用 料 改 訂 は 間 も な く 期 限 (2027 年 3 月) を 迎 え る 旨 に も 言 及 し、時 間 軸 を 意 識 し た 取 り 組 み が 求 め ら れ て い る こ と も 伝 え た。

夜間の線路保守に係る課題や北陸新幹線ルート問題にも言及

荻山会長はさらに、線路使用料に 係 る 協 定 の 改 訂 に は、夜 間 の 線 路 保 守 に 係 る 課 題 を 解 決 せ ね ば な ら な い こ と、北 陸 新 幹 線 の 敦 賀 以 西 は 「小 浜 ・ 京 都 ル ー ト」で 進 め る べ き で あ る と い う こ と も 伝 達 し た。



これらに対し齊藤代表は、「一朝一夕には進まない課題 ばかりだ。日 本 の 将 来 に は 鉄 道 ネ ッ ト ワ ー ク が 不 可 欠 と の 認 識 に 立 ち、国 や 自 治 体、事 業 者 な ど 関 係 主 体 が ど う い う 役 割 を 果 た せ る の か を し っ か り 考 え、皆 さ ん と 一 緒 に 解 決 し て い き た い」と 応 じ、特 に J R 貨 物 の 課 題 に つ い て、「モ ー ダ ル シ フ ト に 関 す る 目 標 値 は 定 め ら れ た が、具 体 策 で も っ て 推 進 せ ね ば な ら な い」 と 述 べ た。